



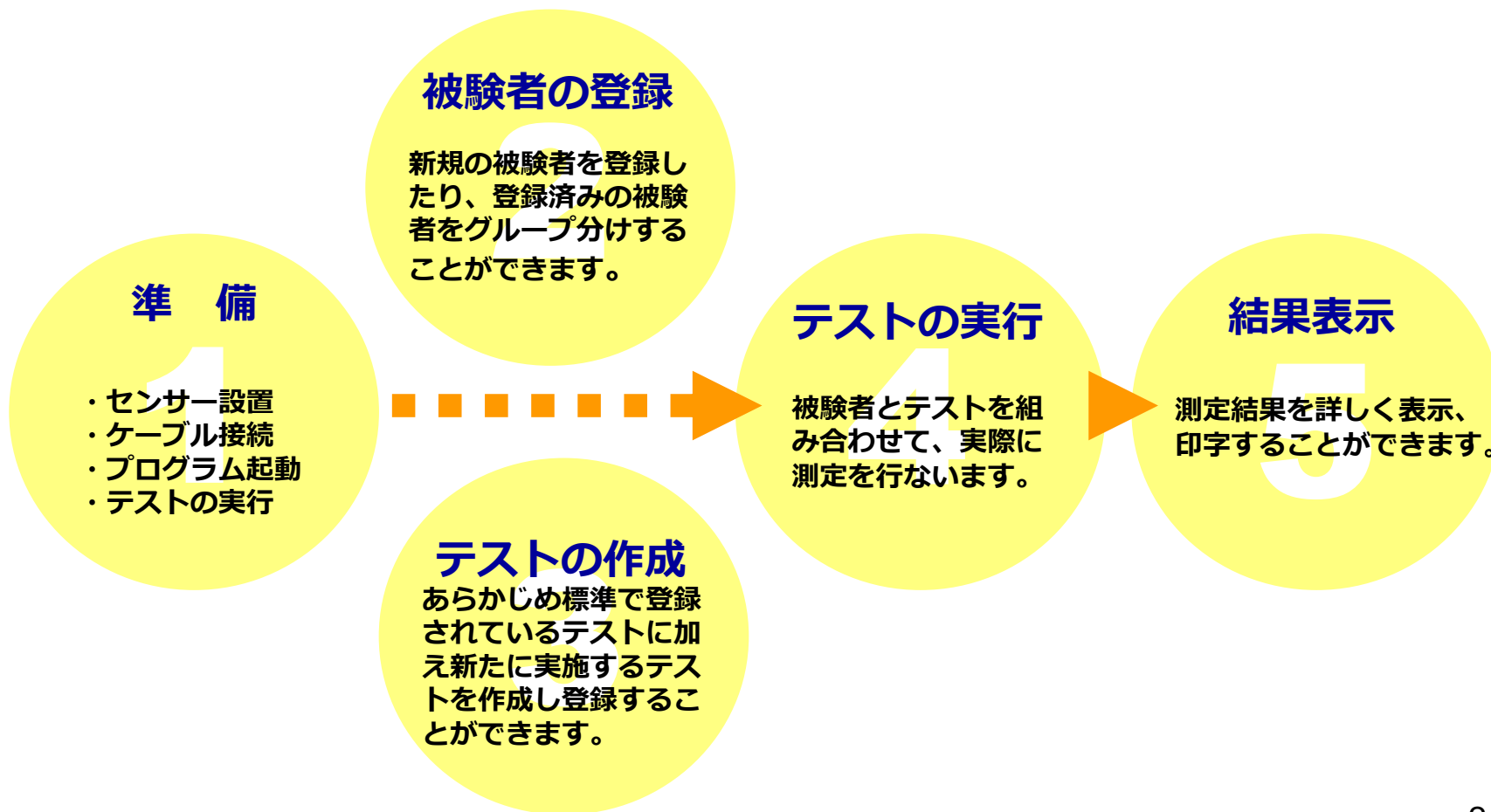
オプトジャンプネクスト 簡易操作ガイド



Rel.1.2



測定までの流れ

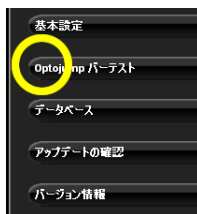




準備



注意！: バーには送信用(TX)・受信用(RX)があります。
 本体表示を確認してそれぞれを一つずつ並べて下さい。
 注意！: バーはセンサー面(黒)が内側を向くように並べて下さい。
 注意！: コネクタには向きがあります。無理に押し込まないでください。



■ センサーの設置、ケーブル接続
 (電源をOFFの状態でおこなってください。)

■ PCの電源オン
 (PCへの接続はOSが起動した状態でも可)

■ センサーON
 RXベースの状態LED確認 (緑色点灯で正常)

■ PCソフトウェア起動

■ 「オプション」 → 「Optojumpバーテスト」
 「実行」 → 「停止」をクリック
 テスト成功と表示されたら使用可



操作実例

以下のページでは、測定サンプルを例に登録から測定、結果表示まで進めていきます。

【測定例】
10mスプリント



被験者の登録



姓	山田
名	太郎
生年月日	80/04/01
性別	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
体重 (kg)	70
高さ	160
足のサイズ	28
職業	会社員
生活強度レベル	
コメント1	
コメント2	
備考	<div style="border: 1px solid gray; height: 40px;"></div>
写真	 ファイルから選択 ビデオから取込

1980年4月1日生まれは
→ 80/04/01 と入力

新規登録は
↓
新規アスリート

足のサイズは入力しなくとも測定はできます。

保存

写真はファイルからも、直接接続されたカメラからも撮影できます。



テスト項目の作成



新たにテストを
作成する場合

新規テスト

テストの編集

名前	10スプリント
テストタイプ	スプリント・歩行テスト
スタート方法	状態の変化
スタート状態	エリア外部
スタート足	指定しない
ストップ方法	タイムアウト
ストップ状態	エリア外部
スプリットタイム測定数	0
テンプレート	なし
備考	

テスト名をつける

測定タイプを選択する

測定開始のタイミングを指定：センサー反応

動作の開始位置を指定

エリア内の1歩目の左右指定：後で指定可

測定終了のタイミングを指定：センサー
反応が止まって一定時間後ストップ

動作の終了位置を指定

基本設定

距離 [cm] 歩数

← 0 → | 10

センサーの接続本数を指定

新たにテストを
登録保存します

保存

キャンセル



テストの実行



測定する被験者を予め複数選択できます。
[選択] ボタンを押して選択

実施するテスト項目を予め複数選択できます。
[選択] ボタンを押して選択

予めテスト項目、被験者の測定の順番を登録したプロトコルファイルを使用する場合に選択

測定中に画面に表示する項目を設定できます。

測定を開始します。



テスト実行中画面

表示するグラフ項目を切り替えできます

テストに適した表示方法を選んでください。

- ・Run Data
- ・Run Report
- ・Gait Data
- ・Gait Report など

#	測定外時間[s]	時間[s]	距離[cm]	接地時間[s]	浮空時間[s]	高さ[cm]	スピード[m/s]	加速度[m/s ²]	
5		3.363	804	0.151	0.156	1.6	6.55	0.85	
6		3.617	990	0.138	0.120	1.8	7.21	1.25	
7		3.875	1183	0.138	0.132	2.1	7.15	0.12	
8		4.135	1379	0.128	0.120	1.8	7.90	1.46	
9		4.387	1583	0.132	0.132	2.1	7.73	0.34	
10		4.649	1788	0.130	0.113	1.6	8.44	1.60	
11		4.896		0.134					
		最小値		(#8) 0.128	(#1) 0.069	(#1) 0.6	(#1) 3.67	(#9) 0.31	
		最大値		(#10) 1.788	(#1) 0.239	(#7) 0.132	(#7) 2.1	(#10) 8.44	(#2) 1.57
		平均値		0.156	0.113	1.6	6.53	0.96	
		標準偏差		0.035	0.018	0.0	1.47	0.76	
		CV		22.4%	16.1%		22.5%	79.2%	

キャンセル

測定を強制終了します。



結果選択画面

フィルタ表示を解除する。全てのデータ表示

表示:
選択したテストを表示

履歴:
複数選択したテストを時系列で表示

印刷:
選択したテストをPDF形式で出力

比較:
複数選択したテストを比較表示

エクスポート:
選択したテストをXML形式で出力



結果画面

ビデオ/グラフ/データ等表示する項目を選定できます。

表示の設定

印刷用結果レポートを表示し印刷できます。

印刷

現在の表示状態で保存できます。

分析を保存

分析記録

署名

測定判定条件を変更し再表示することができます。

設定

表示するグラフ項目を選定できます。

テストに適した表示方法を選んでください。

- Run Data
- Gait Dataなど





レポート印字

表示する項目を選択できます

The screenshot shows the OPTOJUMP software interface. On the left, there is a sidebar with various options for displaying data and graphs. A yellow callout box points to these options with the text "表示する項目を選択できます". The main area displays a report titled "Report woman4 sample" for a "2011/11/02 18:22:25". The report includes athlete information and performance metrics.

データ		データ	データ
名前	womani	有効総時間	0002.03
姓	sampli	合計総時間	0016.00
生年月日	19900305	準位エネルギー-JPG	1.554
性別	F	3歩目の目標達成率(%)	95.07 %
		6歩目の目標達成率(%)	90.12 %
		9歩目の目標達成率(%)	85.06 %

At the bottom of the interface, it shows "Current Page No: 1", "Total Page No: 1+", and "Zoom Factor: 75%".



エクセルへ出力

The screenshot shows the OPTO JUMP software interface. On the left, there are navigation tabs: 'スタート', 'テスト', and '結果'. Below these are various settings and a 'フィルター解除' button. The main area displays two tables of test data.

テスト一覧		
名	テスト	日付
woman4 sample	20M OJN LONG..	2010/11/02 15:0...
man2 sample	Sprint	2010/03/19 11:0...
man3 sample	Sprint	2010/03/19 10:4...
woman3 sample	Sprint	2010/03/19 9:51:48
woman5 sample	Sprint	2010/03/19 9:47:23
man1 sample	OFFICIAL MEN...	2009/06/24 14:1...
woman2 sample	OFFICIAL WOM...	2009/06/24 12:1...

テスト分析: 20M OJN SPRINT		
名	テスト	日付
woman4 sample	20M OJN SPRINT	2010/11/02 15:4...

Annotations in yellow boxes:

- 測定データ一覧表示：自動フィルタ付 (Measurement data list display: automatic filter attached)
- 表示を選択した測定データ (Display selected measurement data)
- フィルタ表示を解除する。全てのデータ表示 (Cancel filter display. Display all data)

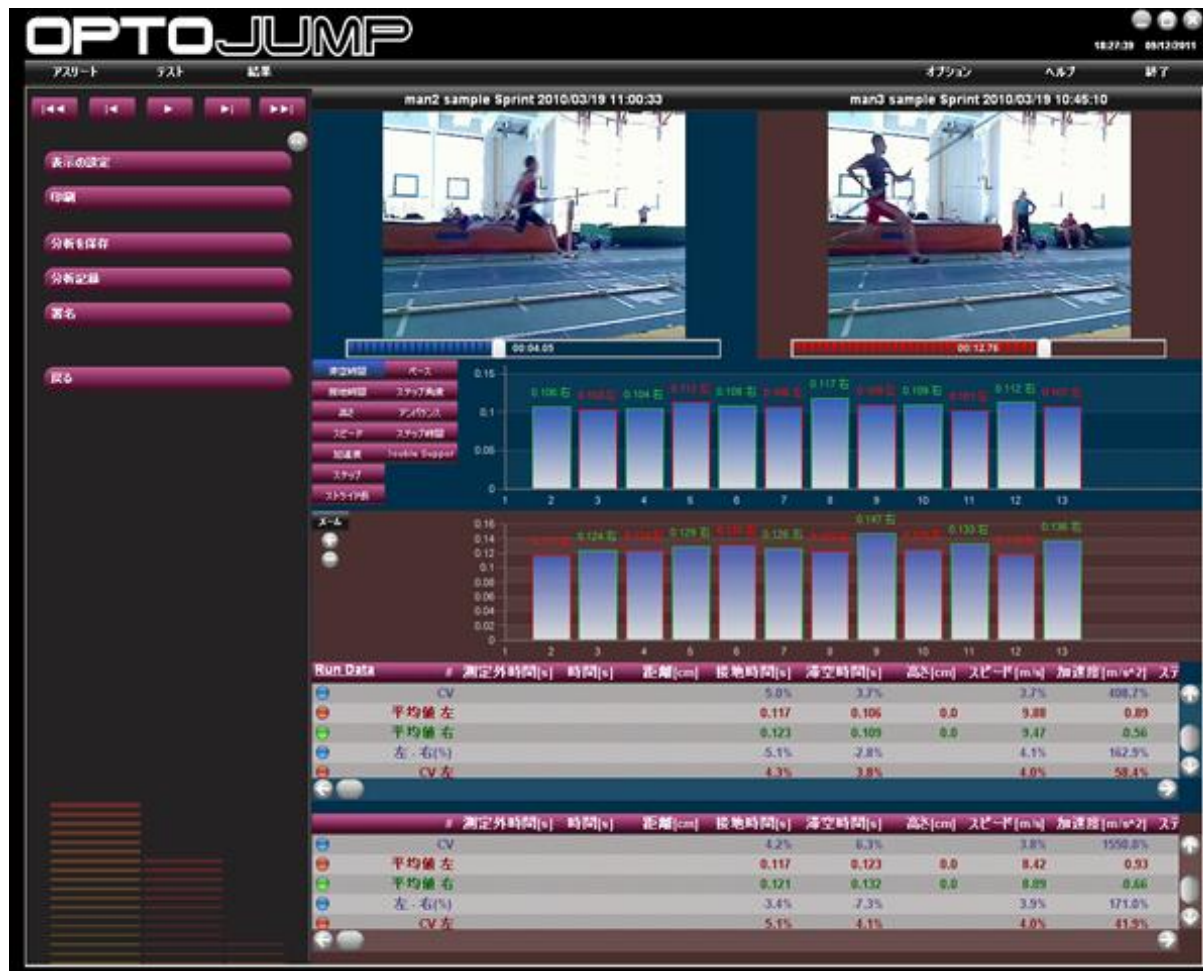
The screenshot shows the bottom navigation bar of the software with five buttons: '表示', '比較', '履歴', 'エクスポート', and '印刷'.

エクスポート：
選択したテストを
XML形式で出力



比較表示

結果一覧画面でデータを2つ選択した後に【比較】ボタンで表示





テスト登録例

以下のページでは、テストを作成するときの登録サンプルを紹介します。

「テスト」 → 「作成と編集」 → 「新規テスト作成」 から作成します。

※既存テストでよく使われている項目をP20に抜粋しております。

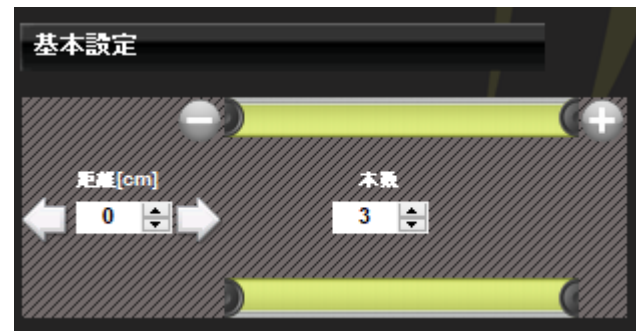


3m歩行

歩行測定、センサーの外側からスタートしてエリア内を通過する。
通過後タイムアウトで自動終了。測定開始はエリアの外からエリアに侵入した時点でスタート。



名前	3m歩行
テストタイプ	スプリント・歩行テスト
スタート方法	状態の変化
スタート状態	エリア外部
スタート足	指定しない
ストップ方法	タイムアウト
ストップ状態	エリア外部
スプリットタイム測定数	0
テンプレート	なし
備考	





3m歩行

テストを実行する際、Gait DataまたはGait Reportの表示に切り替える必要があります。(ランニング測定の場合はRun DataかRun Report)

The screenshot shows the software interface with the following elements:

- Navigation Tabs:** アスリート (Athlete), **テスト (Test)**, 結果 (Results), BIOFEEDBACK.
- Test Selection:**
 - アスリート: [Input Field] **選択 (Select)**
 - テスト: **3m歩行 (3m Walk)** **選択 (Select)**
 - プロトコル (Protocol): [Input Field] **選択 (Select)**
 - 表示の設定 (Display Settings)**
- Parameters List (BIOFEEDBACK):**
 - 立脚期 (Stance Time)
 - 逆脚期 (Swing Time)
 - 片脚支持期 (Single Support Time)
 - 両脚支持期 (Double Support Time)
 - ローディングレスポンス (Loading Response)
 - ブレッシング (Brushing)
 - ステップ時間 (Step Time)
 - 歩行周期 (Gait Cycle)
 - ステップ (Step)
 - ストライド長 (Stride Length)
 - スピード (Speed)
 - 加速度 (Acceleration)
- Selected View:** **Gait Data** (highlighted in red)
- Data Table Header:** # 測定外時間[s] 時間[s] ステップ[cm] 立脚期[s]



10mスプリント

ランニング(歩行)測定、センサーの外側からスタートしてエリア内を通過する。
通過後タイムアウトで自動終了。



名前	10スプリント
テストタイプ	スプリント・歩行テスト
スタート方法	状態の変化
スタート状態	エリア外部
スタート足	指定しない
ストップ方法	タイムアウト
ストップ状態	エリア外部
スプリットタイム測定数	0
テンプレート	なし
備考	





トレッドミルランニング

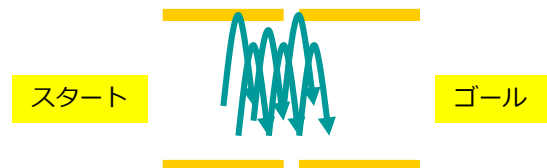
トレッドミル上でのランニング測定、時速10 kmの設定速度でラン、ソフトウェア上の [スタート] ボタンで測定開始、 [停止] ボタンで測定終了。

名前	トレッドミルランニング
テストタイプ	トレッドミルランニングテスト
スタートタイプ	ソフトウェアマンド
スタート足	指定しない
ストップ方法	ソフトウェアマンド
トレッドミルスピード [Km/h]	10.0
方向	インターフェース側
備考	



30秒間連続ジャンプ

センサーエリア内で30秒間連続ジャンプを測定する



名前	30 SEC. JUMPS
テストタイプ	ジャンプテスト
スタート方法	状態の変化
スタート状態	エリア内部
ストップ方法	終了時間
測定時間	00:30
備考	既存のテスト



既存のテスト(抜粋)



- 15SEC.JUMP = 15秒間の連続ジャンプ
- CMJ = 反動をつけた垂直跳び1回
- MARCH IN PLACE = その場足踏みテスト20秒
- STIFFNESS = 7回連続ジャンプ「RSI=ジャンプ高/接地時間」=バネの評価
- 視覚反応 = 画面の球体の色の変化に反応してジャンプ 反応時間+跳躍高

※上記テストは全て 1 m(シングルセット)から測定可能です。